



[発行所] 福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931 西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬直之
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)
西鉄労組ホームページ (<http://nnr-u.org>) ▶



西鉄組合新聞

団結がんばろう! 西鉄労働組合定期大会特別号 9月27日(木)、第153回定期大会開催!



2018年度運動方針決定 新執行部のもと組織をさらに強化

9月27日(木)、西鉄グランドホテル(福岡市にて、第153回定期大会)を開催し、運動の基軸となる「2018年度運動方針」を決定するとともに、古賀孝治執行委員長をはじめとする新執行部が発足し、今後2年間の新たな運動をスタートさせた。

大会は、代議員、中央委員、特別中央委員のほか、来賓や傍聴者などを含め、約200名が参加。議長團には、溝辺代議員(宇美)、橋田代議員(筑紫乗務)、松尾代議員(国物東日本)の3名が選出された。

冒頭、古賀執行委員長は、①自然災害のお見舞い・防災等について②主要闘争について③組織の活性化について④来年4月の統一自治体選挙、夏の参議院議員選挙へ向けた組織力・政治力強化などについて述べた。(要旨は中面参照)

議事では、「主要闘争報告」「2017年度決算報告」「2018年度運動方針案」「2018年度予算案」などの各議案について執行部から提案説明がなされた。

代議員からは、「2018年度運動方針案」について、離職防止、会社指定休暇、家族会の組織体制の構築など、多岐にわたって質問が出され、執行部との間で活発な議論のもと、満場一致で原案通り審議決定された。(質疑応答・決定録は中面参考)



第153回定期大会議長団(左から松尾氏、橋田氏、溝辺氏)

また、来期の女性委員の選挙が行われ、6名が無投票にて選出された。

議事終了後、改選された新執行部の紹介がされ、挨拶の中で古賀執行委員長は、会社の「まち夢ビジョン」にふれ、天神地区の発展が交通産業の発展にもつながることには期待するが、組合はその歴史と伝統をしっかりと守り、「組織強化は職場から」という姿勢で頑張つていくと、今後2年間への力強い決意を述べた。その後、退任した総務前副執行委員長が挨拶をおこなった。

最後に、全体会で「団結がんばろう!」を三唱し、定期大会は閉幕。2018年度の運動をスタートさせた。

災害のお見舞い・防災等について②主要闘争について③組織の活性化について④来年4月の統一自治体選挙、夏の参議院議員選挙へ向けた組織力・政治力強化などについて述べた。(要旨は中面参照)

続いて来賓を代表し、私鉄総連・木村書記長、連合福岡・西村会長、NTT労組九州総支部田畠会長、委員長、政治局員、柄木義博福岡市議、高退協・松本会長からそれぞれ祝辞をいただき、続いて「もりやたかし」氏よりVTRメッセージによる力強い決意表明がおこなわれた。(要旨は中面参照)



団結がんばろう

古賀執行委員長あいさつ要旨

日頃から組合の諸活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げるとともに、各職場各地域でのご活躍に敬意を表する。まず、労組顧問の松本龍氏が7月21日ご逝去された。これまであらゆる面からご指導いただき、その功績とご勞苦に対し深く感謝と敬意を表すとともに、心より哀悼の意を表す。

【自然災害について】



挨拶をする古賀執行委員長

【主要闘争について】

18春闘では、軽油価格の変動の懸念や天神街区の再開発への投資など不安材料も挙げられました。一方で、労組としては連合福岡や交通労協を通じ、県や自治体に対して防災・減災への取り組み、避難所における住環境の整備などの要請をおこなっている。個々の家庭においても、日常から避難場所の確認や安否確認の方法など、身の安全確保をはじめ、住居に対する備えについても対応策を議論しておかれています。

【政治力強化について】

来年は、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙が同年に施行される12年に一度の選挙イヤーであり、例年以上に政治力強化について一層のご理解と協力をお願いしたい。

交通政策はもとより、産業政策、働き

料がありながらも、日頃からの組合員の努力や優秀な人材の確保へへの投資を強く主張し、積極的に交渉を進めた。19春闘においても、「組合員の雇用と生活の確保」という観点から「生産では協力するが分配では対立する」という基本姿勢で、「人への投資」の必要性を訴え、交渉重視で臨むものとする。具体的には、総連方針に則り、19春闘方針案の中で提起するが、組合員の団結力を背景に粘り強く交渉を進めていくので、職場からの闘争体制強化をお願いしたい。

18秋闘で、組合組織と職場環境の点検をおこなう。組合員が安心して働き続けられる職場環境の構築をめざし、各職場における環境の相違に捉われず、一步でも前進させることが重要であり、組合員全員の参加によって組織強化にも繋がる取り組みとした。

【組織の活性化について】

国際物流部門における業種やばら

った地域性を鑑み、情報伝達の効率化を図ることを目的として国際物流部門に東京と名阪の2分会を新設し、分会組織を再編した。これにより組合員と執行部の距離が一層縮まったので、分会を通じ、県や自治体に対する防災・減災への取り組み、避難所における住環境の整備などの要請をおこなっている。個々の家庭においても、日常から避難場所の確認や安否確認の方法など、身の安全確保をはじめ、住居に対する備えについても対応策を議論しておかれています。

【経営状況について】

上という認識に立ち、新たな発想での取り組みも挑戦してきました。

【政治力強化について】

方などの労働政策、急速に進む高齢化に伴う社会安全保障政策と税制問題、子育てと教育政策、そして平和問題など、労働者、生活者の視点に立った改革すべき課題は山積している。私たちは政治に関心を示し、これらの課題に常に問題意識を持ち、自らが関わっていこうことが一人ひとりに課せられた責務だと考える。

このようなかつて、来年4月の第19回統一地方選挙では、組合内議員として5期連続で、組織の勇退を受け、後任として木義博市議の勇退を受け、後任として

20年、働く者の代表として交通政策を中心ご尽力いただいた早良区選出の「柄木義博」市議の勇退を受け、後任として「権藤英樹」氏の擁立を決定した。さらに准組織内候補として、東区選出の県議会議員佐々木徹氏の擁立も決定した。私たちが掲げる政策要求実現のために從来からの政治方針である「政策と人」に則り、取り組みを進めていく。

また、7月の第25回参議院議員比例代表選挙においては既に後援会入会活動などで協力をいただいている、私鉄総連組織内候補「もりやたかし」氏の捲土重来を期して、前回以上の取り組みを展開しなければならない。日本人は全国キャラバンを展開中で、11月には九州オルダの予定となっている。本人と直接接会し、組合員との対話を含め、取り組み強化と投票行動につながる活動を改めてお願いする。

統一地方選挙、参議院議員選挙、いざれにおいても現在、取り組んでいる政策課題克服に向けて、政治団体NNRU交通政策研究会と連携を図りながら、通政策研究会と連携を図りながら、私たちの思いを届け、将来にわたり労務や労働金庫の制度を活用し、可処分所得を向上させるため、セミナーや学習会などを通して全員の組合員に制度の周知を図り、総合的な観点から組合の活性化に繋がる推進活動を展開していく。

組織の活性化については、常に発展途上という認識に立ち、新たな発想での取り組みも挑戦してきました。

特に、天神ピックバンの推進では、多くのグループ企業が携わることとなる。組合として企業の取り組みに対峙すべき課題も出てくるものと考えられグループ企業内組合間の連携が一層求められる。共通認識をもって、西鉄グループで働く仲間と一緒に運動を推進していくことを目指していきたい。

【結びに】

今後も私鉄総連九州地連の産別運動に積極的にかかわり、連合構成組織を中心とした労働組合を組織する仲間や交通労協に結集する労働組合の仲間とも連携を図ることが大切である。流動する時代に即した運動果たすべき役割と使命を再認識し、組織の歴史と伝統を守り、ストレーガンにあるように「組織強化は職場から、議論と実践で運動強化を念頭に置いて、組合員全員で運動を展開していく所存である。

ておく必要がある。企業を取り巻く環境を見据え、働き方をはじめとする労働条件や環境の変化に伴う諸課題などに対し、的確に対処していく。

「もりやたかし」氏ビデオメッセージ要旨

日頃は古賀執行委員長はじめ、職場のみなさまにお世話になっていること心より感謝申し上げる。

昨年の10月より、第25回参議院議員選挙へ向けて、全国キャラバンをスタートさせた。今回は2回目の挑戦であります、立憲民主党から公認をいただいて選舉に臨む。各職場をまわる中で

は、職場の仲間のみなさまから、「もりや、頑張っているな」「今度こそ国政に貢献できる」といった声援をいただいている。この

選挙まで1年を切った。「もりやたかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張っていく所存である。どうか引き続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

6月に新幹線の中で大変痛ましい事件が発生した。私たち公共交通機関の最大の使命である安全・安心な運行に対する取り組みについて、職場

からの声を、想いを、国政の場に伝えにたたかっていきたい。

選挙まで1年を切った。「もりや

たかし」は最後の最後まで全力をあげて頑張っていく所存である。どうか引き

続きご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げる。

質疑応答要旨

【審議事項3号議案】

【2018年度運動方針(案)決定に関する件】

D・組織対策活動の強化について

●離職防止について

【質問】柳川乗務分会 古賀代議員

「離職防止をはじめ労働環境の問

題点を抽出し、改善に向けて、部門

労使間で協議をおこなう」とあるが、

現在、協議している内容、また、執行

部はどうのような考え方を持っているのかお聞かせ願いたい。

【答弁】

現在、鉄道部門の労使間では、働き

方、働く環境について協議をおこなう

検討委員会を立ち上げたところであ

り、定期的に開催していく」と考

えている。現段階では特に離職の多

い乗務員の問題について、賃金制度が

改定され、賃金面では一定程度の魅

力を確保してきたと思っている。

また、若い世代の離職が多いとい

う状況から、不規則勤務、要員不足

に伴う時間外勤務増やプライベ

トな時間がないなか取れないなどの

意見をいただいている。そこでまず、

要員不足の解消に取り組み、会社の

責任としてしっかりと改善を図るよう

求めているところである。

討する」とあるが、その具体的な施策とは何かをお聞かせ願いたい。

【関連質問】自動車事務分会 大内代議員

年始の手当について、現在、助役、

事務職は年始に出勤しても手当では

ついていない。助役勤務は輪番であ

り、正月でも必ず出勤はある。まして

昔とは異なり、臨時などの影響で出勤となることが多い、乗務員と同様

無投票当選

区分	氏名	所属分会
女性委員	自動車 森山 珠美	新宮分会
	自動車 増田芙美子	宇美分会
	鉄道 吉永 未希	筑紫乗務分会
	兼業 金納 敦子	事務分会
	兼業 高倉 舞	国物東京分会
	兼業 西村 昌子	国物西日本分会

上記の者、選挙規程34条により無投票当選した。

女性委員選挙結果

永年にわたり組合にご尽力いただき、
ありがとうございました。

第57回 組合員
褒賞規程適用者

今回で定期大会への参加が3回目となり、大会を重ねることに増す「もりやたか」氏の様々な政策への熱い思いと、選挙に対する真摯な姿勢を改めて感じました。突然発生する自然災害が多く発している昨今、鉄道部門所属としては、要員不足の解消や、適切な労働時間と時間配分を見直して、特に関心を持っています。「組合員の生活を守る意識」は今後も組合員と共に一層強く持ち、今後も組合員と共に二つで、團結して運動を続けていきます。



要員不足、働き方の
議論に特に関心



各選挙の全員当選を
めざし、団結

第153回定期大会に参加して



今回で定期大会への参加が3回目となり、大会を重ねることに増す「もりやたか」氏の様々な政策への熱い思いと、選挙に対する真摯な姿勢を改めて感じました。突然発生する自然災害が多く発している昨今、鉄道部門所属としては、要員不足の解消や、適切な労働時間と時間配分を見直して、特に関心を持っています。「組合員の生活を守る意識」は今後も組合員と共に二つで、團結して運動を続けていきます。

近年、「働き方」に関して、世間では大きな関心が寄せられていますが、働き方を改善する上で欠かせない要員不足の解消は、各職場で関心が高い問題のひとつだったと思います。大会での議論を聞き、人材の確保・流出防止のためにも、賃金の改善に加え、フレックスタイムの推進、女性の人員確保のための育児休暇充実など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みを早急に進める必要があると感じました。今回感じたことを今後の組合活動に活かしていきたいと思います。

今回は、選挙前の定期大会で、選挙に向けて気持ちが新たになる大会となりました。来年の統一地方選挙では、組織内候補として新たに立候補する「ごんどう英樹」氏と、準組織内候補の「佐々木」とおる氏、そしてなんと言つても参議院議員選挙では、「もりやたか」氏の当選を果たさなければなりません。全員を当選させて私たちの声を議会に届けるために、团结してがんばりましょう。



ワーク・ライフ・バランス
の実現に向けて

西鉄労組 新執行部・職員紹介

財務部	政治部次長	会計監査	兼業対策部長	組織部長	執行委員長
総務部	財務部長	会計監査	自動車対策執行委員	自動車対策部長	副執行委員長
組織局	教育宣伝部長	会計監査	鉄道対策執行委	鉄道対策部長	書記長



専従として20年間、組合で務めさせていただきました。その間、諸先輩方、ここにおられる代議員の方々、そして各職場の方々にまで暴言と舌戻を吐きながらも親しくしていただきました。この場を借りて、みなさんにお詫びとお礼を申し上げたいと思います。また、この場におられない方々にも、みなさんからよろしくお伝えください。去る者は多くを語らず。ありがとうございました。



組合のために
ご尽力いただき、
ありがとうございました。

執行部退任者